

稲沢市総合計画審議会〔第1回〕会議録

【日 時】令和8年7月1日(水) 午後1時30分～3時

【場 所】稲沢市役所本庁舎3階 議員総会室

【出席者】稲沢市総合計画審議会委員(敬称略)

木全 信明	稲沢市議会 議長
黒田 哲生	稲沢市議会 議員
鈴木 純子	稲沢市議会 議員
日比野 貴子	稲沢市議会 議員
曾我部 博隆	稲沢市議会 議員
秀島 栄三	名古屋工業大学 大学院 工学研究科 教授
鈴木 誠	愛知大学 地域政策学部 学部長
中村 麻里	名古屋文理大学 教授
池戸 賢治	稲沢商工会議所 会頭
岩田 毅	愛知西農業協同組合 常務理事
伊藤 浩樹	稲沢市教育委員会 教育長職務代理者
片山 忠二	稲沢市まちづくり連絡協議会 副会長
鈴木 恵理子	稲沢市子ども会連絡協議会 顧問
小田 真理子	稲沢市みらい子育てネット 会長
牛嶋 みゆき	稲沢市連合婦人会 会長
吉川 永浩	稲沢市老人クラブ連合会 会長
杉山 茂和	社会福祉法人 稲沢市社会福祉協議会 会長
谷 茂也	一般社団法人 稲沢市医師会 会長
後藤 靖	連合愛知尾張南地域協議会 代表
兒玉 篤典	稲沢金融懇話会 幹事
柴田 宗敏	愛知県立稲沢緑風館高等学校 農場長
市川 真	株式会社中日新聞社 一宮総局 局長
小笠原 三恵子	ママサポートぴよぴよ 代表
吉次 栄子	ぱいんこーん 会長
森 穂波	公 募
宮崎 佳奈	公 募
加賀 達也	公 募
三谷 歩武	公 募

〈事務局〉

加藤 錠司郎	市長
岸 宗二	総合政策部長
吉川 修司	総合政策部次長兼秘書政策課長兼病院経営対策室長
前田 赳史	秘書政策課主幹
平嶋 克紀	秘書政策課主査

大屋 彩
関 健太

秘書政策課主任
秘書政策課

【議事次第】

- 1 委嘱状交付
- 2 あいさつ
- 3 自己紹介
- 4 会長、副会長の選任について
- 5 諮問
- 6 協議事項
 - (1)今後の運営方法及びスケジュールについて
 - (2)第7次稲沢市総合計画について
- 7 その他

1 委嘱状交付

【事務局】

定刻になりましたので、ただいまから、第1回稲沢市総合計画審議会を開催させていただきます。本日進行を務めさせていただきます総合政策部次長兼秘書政策課長兼病院経営対策室長の吉川修司でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

はじめに、委嘱状を交付させていただきます。代表として、木全信明委員にお渡しさせていただき、他の委員の皆様につきましては、自席に配布させていただいておりますので、よろしくお願いいたします。

〈市長から代表者(木全委員)へ交付〉

【事務局】

続きまして、市長からごあいさつ申し上げます。

2 あいさつ

【市長】

第1回稲沢市総合計画審議会の開催にあたり、一言あいさついたします。

本日は皆様大変ご多忙の中、第1回稲沢市総合計画審議会に出席を賜りまして、誠にありがとうございます。日頃は市政各般にわたりましてご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

ただ今、委員の皆様方に委嘱状を交付させていただきました。本当にご多忙の方ばかりではございますが、快くお引き受けいただきまして誠にありがとうございます。重ねて厚く御礼申し上げます。

ご承知のとおり、総合計画は本市の将来像を描き、その実現に向けたまちづくりの方向性を示した最上位計画であり、市政運営の根幹をなすものでございます。その策定にあたりまして、各分野において識見を有する皆様から幅広いご意見を頂戴することは、大変意義深いものと考えております。

さて、私たちを取り巻く環境は大きく変化しております。少子高齢化及び人口減少社会は更に加速しており、また、不安定な世界情勢やこれを背景とした物価高騰、気候変動の影響による災害の激甚化・頻発化など、従来の延長線上では解決が難しい課題が顕在化しております。これらについて、柔軟に対応していくためには、私たちは持続可能かつ強靱なまちづくりを一層推進していかなければなりません。

こうした中で、行政のみならず、市民、地域団体、民間企業など多様な主体が連携し、共にまちづくりを進める「共創」の視点が、これまで以上に重要になっていると認識しております。

今後、私どもが作成した素案に対し、様々な視点からのご意見、ご提言を賜り、新たな時代に即した総合計画を策定してまいりたいと考えております。

限られた時間の中ではありますが、よろしくご審議賜りますようお願い申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。

3 自己紹介

【事務局】

続きまして自己紹介に移ります。委員の皆様方に続き、事務局の紹介も行います。なお、総合計画策定支援業務の受託事業者である三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング株式会社名古屋の研究員も審議会へ出席をしていただいておりますので、お含み置きいただきますようお願いいたします。

それでは、お手元に配布いたしました「稲沢市総合計画審議会委員名簿」をご覧ください。大変恐縮に存じますが、名簿の初めにお名前がございます木全委員から順次、自己紹介をお願いしたいと存じます。

〈名簿掲載順に自己紹介〉

【事務局】

どうも皆様、ありがとうございました。次に、事務局職員と受託事業者の自己紹介をさせていただきます。

〈事務局の自己紹介〉

4 会長、副会長の選任について

【事務局】

続きまして、会長、副会長の選任につきまして、お願いをさせていただきます。

説明資料2の「稲沢市総合計画審議会条例」の第4条に「審議会に会長及び副会長を置く。」とございまして、同条第2項に「会長及び副会長は、委員の互選によって定める。」と規定されております。会長、副会長をそれぞれお決めいただきたいのですが、ご意見はございませんでしょうか。

【委員】

会長には、「自治体の地域産業政策、地域経済分析、コミュニティ政策論」がご専門で、各地の総合計画策定に携わっておられます、愛知大学の鈴木誠委員を、副会長には、土木計画学がご専門で、現総合計画の策定や総合戦略の進捗管理に携わられております、名古屋工業大学の秀島栄三委員にお願いしてはどうかと考えます。

【事務局】

ありがとうございます。会長には、愛知大学地域政策学部学部長の鈴木誠委員、副会長には、名古屋工業大学大学院工学研究科教授の秀島栄三委員にお願いしてはどうかとのご意見でした。他にご意見はございませんでしょうか。

〈「異議なし」と呼ぶ者あり〉

【事務局】

ありがとうございます。それでは、会長は鈴木誠委員、副会長は秀島栄三委員が選任されました。鈴木会長と秀島副会長は、前の席へ移動をお願いいたします。

〈 会長、副会長は、各席へ移動 〉

【事務局】

それでは、会長よりごあいさつをいただきたいと思います。会長、よろしくお願いいたします。

【会長】

皆さん、こんにちは。ただいまご推薦いただきまして、会長を拝命いたしました鈴木誠でございます。どうぞよろしくお願いいたします。まちづくりというのは、アクセスの問題など様々な視点がございいます。私は専門外のことも多いのですが、学生時代からまちづくりを耳学問として学んでまいりました。様々な自治体での計画策定の経験もありますが、やはり大切なことは、その土地、その土地が持つ固有の地域資源や人々の想い、そして地元の皆様の声を丁寧に拾い上げることだと考えております。

本日まで出席の委員の皆様は、稲沢市の各分野を代表する方々ばかりです。そうした多様な視点から、稲沢市のあるべき将来像を共に描いていけるよう、議事を進めてまいりたいと存じます。

限られた時間ではございますが、どうぞよろしくお願いいたします。

【事務局】

ありがとうございました。続きまして、副会長よりごあいさつをいただきたいと思います。

【副会長】

副会長を拝命いたしました秀島でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

私はこれまで、稲沢市のまち・ひと・しごと創生総合戦略の策定や進捗管理に関わらせていただいております。稲沢市の状況についてある程度把握しております。

市長からもお話がございましたように、これから人口減少の時代を迎えることとなりますが、人口が少ないこと自体がただちに問題というわけではございません。むしろ、人口が減っていくプロセスの中で、地域のインフラや行政サービスをどのように維持・再編していくか、また、どのような形でまちの活力を保っていくか、こうした点を10年という計画期間を見据えながら、丁寧に考えていかなければならないと思っております。

委員の皆様からは様々なご意見もあろうかと思いますが、鈴木会長を補佐しながら、審議を進めてまいりたいと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

5 諮問

【事務局】

ありがとうございました。続きまして、市長から諮問をさせていただきます。

〈市長は会長席前まで進み、鈴木会長へ諮問書を提出〉

【事務局】

それでは、議事に移らせていただきますが、市長につきましては、この後、他の公務がございますので、ここで退席させていただきますと存じます。

〈市長退席〉

6 協議事項

(1)今後の運営方法及びスケジュールについて

【事務局】

引き続き、議事を進めてまいりたいと存じます。会議の議事進行につきましては、稲沢市総合計画審議会条例第4条第3項の規定に基づきまして、会長が務めることになっております。以後の議事の取り回しにつきましては、会長にお願いいたしたいと思っております。鈴木会長、よろしくお願いいたします。

【会長】

条例に基づきまして、議長を務めさせていただきます。それでは、協議事項1「今後の運営方法及びスケジュールについて」、事務局の説明を求めます。

=〔事務局〕=

【「稲沢市総合計画審議会の運営に関する確認事項」、「稲沢市総合計画審議会運営要綱」「第7次稲沢市総合計画審議会開催スケジュール(案)」について説明】〔説明資料4～6〕

〔会長〕

ただいま、協議事項(1)の説明が終わりました。先ほど、『資料番号5』において部会の説明がありましたが、部会の構成について、事務局から提案はありますか。

〔事務局〕

僭越ではありますが、委員の皆様方の所属団体等に鑑み、事務局案といたしまして、部会の構成(案)を配付させていただきます。

なお、第1部会の部会長には、稲沢商工会議所会頭の池戸賢治委員、副部会長には愛知西農業協同組合常務理事の岩田毅委員に、第2部会の部会長には、稲沢市医師会会長の谷茂也委員、副部会長には稲沢市老人クラブ連合会会長の吉川永浩委員にお願いさせていただいたらどうかと考えております。

〔会長〕

事務局から協議事項1といたしまして「今後の運営方法及びスケジュール」の説明及び部会構成、部会長・副部会長の提案がありました。

ご質問のある方は、挙手をされまして、指名を受けられた後に、ご発言をいただくようお願い申し上げます。

特にご質問もないようでございますので、お諮りいたします。協議事項(1)につきまして、事務局の説明及び提案のとおり進めることについて、ご異議ありませんでしょうか。

〈「異議なし」と呼ぶ者あり〉

〔会長〕

協議事項(1)につきましては承認されました。事務局は部会の日程を次回の会議までに調整した上で、スケジュールどおり進めてください。

(2)第7次稲沢市総合計画について

〔会長〕

続きまして、協議事項(2)「第7次稲沢市総合計画について」、事務局の説明をお願いします。

=〔事務局〕=

【「次期稲沢市総合計画の策定方針」、「第7次稲沢市総合計画策定に向けた各種基礎調査等の実施について」「第7次総合計画策定に向けた各種基礎調査等の結果について」について説明】〔説明資料 7～9〕

【会長】

ただいま、協議事項(2)の説明が終わりました。事務局からの説明についてご質問はございませんでしょうか。

【委員】

資料8の次世代によるまちづくり提案の参加者 20 名について、この方々の内訳を教えてください。名古屋文理大学に通っている学生とのことですが、稲沢市内に住所のある方なのか、市外から通っている学生なのかという点が気になります。

【事務局】

居住地については、次世代によるまちづくり提案の場でお話を伺った限り、大半が市外から大学に通っている学生であると考えております。市内在住の学生は非常に少ないものと思われませんが、細かい数字は手持ちの資料では把握しておりませんので、改めて調査し、ご報告させていただきます。

【委員】

資料7について、これまでの第1次から第6次までの計画に対する振り返りとして、達成度はどのように評価されているのでしょうか。

【事務局】

第6次総合計画における市政世論調査(市政アンケート調査)の 42 項目の満足度調査のうち、38 項目は概ね良好でございます。なお、第7次総合計画は第6次総合計画の振り返りを踏まえたうえで策定したいと考えております。

【委員】

資料9の 22 ページに家の庭でバーベキューをしたいといった希望が示されています。こうした要望については、市街化区域と市街化調整区域の土地利用の問題に踏み込む内容になると思うのですが、そのあたりまで本審議会でも議論することになるのでしょうか。

【事務局】

ご指摘のとおり、居住環境や暮らし方に関する希望を実現するためには、土地利用の方針とセットで検討する必要があります。第6次総合計画の冊子 31 ページには「土地利用方針」として将来のあるべき姿を示しており、34 ページには土地利用イメージも掲載しております。総合的な土地利用に関する方向性についても、今後 10 年の計画の中で方針を示していく予定でございますので、本審議会でもあわせてご議論いただければと考えております。

〔委員〕

資料7に予算と連動した実効性を有する計画と記載されていますが、実際に総合計画の段階ではどのような形で予算の裏付けが示されるのでしょうか。優先順位をつけるということは理解しましたが、具体的にどのような資料になるか教えていただけますか。

〔事務局〕

基本構想・基本計画の段階では、バックカスティングの手法を用いまして、10年後の理想とする稲沢市の姿から逆算して施策の方向性を定めてまいります。一方で、そのアクションプランである推進計画を策定する際には、好きなことを書くだけでなく、予算の裏付けが必要になります。そのため、現状で実施している各事業について予算額をある程度把握しながら、何を優先するかという優先順位を設定し、現実に実行可能な事業として掲載してまいります。理想の将来像を描いたうえで、実効性をともなう推進計画を作ることが目標です。

〔委員〕

第6次総合計画の34ページを見ると、稲沢市の東側には交通の要衝が集中しており、東西で地域の様相がかなり異なっています。そうすると、委員の意見や市民の意識も東西では違ってくるはずで。そうした地域差を踏まえた分析をする資料を出していただくことはできますか。

〔事務局〕

ご指摘の通り、稲沢市は東側にJR稲沢駅周辺の市街化区域が広がる一方、西側は農地が多く、様相が大きく異なっております。

市では2年に1回、市政世論調査を実施しており、生活環境や行政施策に対する満足度について、各市民センター地区別でのクロス集計データが存在しております。たとえば西側の地区の方からは、交通アクセスへの不満が高く出る傾向があるなど、地区ごとの特性が見えてまいります。こうした地区別のデータを活用しながら、今後の計画案に反映させてまいりたいと考えております。

〔委員〕

人口の減少グラフについて、例えば祖父江地区や平和地区のような地域では、人口が特に減っていると思われます。現状の差についてどのくらいか数字でわかりますか。また、例えば小学校の統廃合が進めば、若い世代の転入はさらに難しくなってしまうと思いますが、今後どのように対応していくお考えでしょうか。

〔事務局〕

資料9の4ページ上段に、2000年から現在までの地区別人口推移をお示しております。傾向としまして、下津地区など一部の地区では人口が若干増加傾向にある一方、祖父江地区・平和地区などでは減少傾向が顕著に見られます。今回お持ちした資料では地区ごとの細かい数字まで整理しきれないため、次回の審議会において地区別の人口データを改めてお渡しさせていただく予定です。

【委員】

第6次総合計画においてどれだけ達成できたのか、またどの分野が大きく伸びたのかを次回資料としてご提示いただけますでしょうか。次のステップを考えるうえで参考になると思います。

【事務局】

承知いたしました。次回審議会で詳細をお示しします。

【委員】

先ほど市政世論調査の話がありましたが、各地区に住む方々の意見を十分に反映できるようなものになっているのでしょうか。

【事務局】

今回の市政世論調査では、各市民センター地区別でのクロス集計データなどがありますので、これを踏まえて、今後全体のまちづくりの方針を定めてまいります。

【委員】

資料9の4ページの地区別人口の数値ですが、各地区でそもそもの人口規模が違うため、何人減ったという絶対数だけでは、地区間の比較がしにくいと思います。例えば2,000人規模の地区から500人減った場合と、1万人規模の地区から500人減った場合では意味が全く異なります。次回パーセンテージで計算した増減率としてお示しいただけないでしょうか。

【事務局】

承知いたしました。次回審議会で詳細をお示しします。

【委員】

転入超過や自然増という話がありましたが、この資料は日本人のみのデータということでしたか。外国人が増えているとすれば、日本人だけのデータで見ると実態はもっと深刻な状況になってしまうのではないかと思います。外国人の増加数についてもぜひ示していただきたいのですが、いかがでしょうか。

【事務局】

4ページ下段の人口動態表につきましては、統一的なデータを比較するため、日本人のみの数値を掲載しております。外国人の人口についても簡単にご説明いたしますと、2014年時点では稲沢市の外国人登録者数は約2,650人でしたが、2024年には約4,250人となっており、10年間で約1,600人増加しております。外国人人口は右肩上がりで増加している状況です。

〔委員〕

外国人の人数が増加しているとのことでしたが、どの地域で増えているか把握できていますか。東側と西側でも違うと思いますし、どのエリアに集中しているかによって、今後の施策の考え方も変わってくると思います。

〔事務局〕

外国人の国籍の傾向については、近年ベトナムやネパール等の方が増えており、以前多かった中国・ブラジル・台湾の割合が相対的に低くなっております。

地区別の外国人分布については、現時点では細かいデータを持ち合わせておらず、市内のエリアごとに分類した資料が出せるかどうか確認が必要な状況でございます。

〔委員〕

外国人を雇用している企業数のデータがあれば合わせて共有いただきたいです。

〔事務局〕

外国人を雇用している企業数については、現時点では細かいデータを持ち合わせておりません。なお、当該企業数と外国人住民の増減の因果関係については、分析が必要な状況でございます。

〔会長〕

ありがとうございました。せっかくの機会ですので、稲沢市の現状分析などについてご意見をいただけますか。

〔委員〕

稲沢市は名古屋市と一宮市という二大都市の間に位置しています。これは間違いなくメリットでもあり、デメリットでもあります。両者への交通アクセスの良さは大きな強みですが、逆に言えば稲沢に来る理由を作らないと、人も消費もすべて流れてしまうリスクもあります。今日の資料を拝見した限りでは、「住みよいまち」というイメージが全体的なベースになっているように感じましたが、地域間競争が激しくなっている中では、産業振興の視点、つまり、稲沢にどうやって来ていただくか、稲沢で働く・稲沢に投資するメリットをどう打ち出すかといった観点も計画の中に組み込んでいただければと思います。

〔会長〕

皆様、大変貴重なご意見をありがとうございました。人口動態の地区別分析、外国人人口の把握、土地利用の方針、予算との連動、そして産業振興の視点など、幅広い観点からのご意見をいただきました。それぞれの委員の皆様が、稲沢市の将来をどれだけ真剣にお考えかということが、今日の議論から非常に伝わってまいりました。

事務局は本日いただいたご意見を丁寧に整理し、次回以降の審議会において具体的な計画案としてお示しできるよう、準備を進めてください。

7 その他

【会長】

協議事項としては以上ですが、「その他」について事務局からお願いします。

【事務局】

本日委員の皆様より多数のご意見を頂戴いただきましたが、議事の都合上、十分な時間が確保できなかった方もいらっしゃるかと存じますので、お手元に意見記入シートを配布しております。追加でご意見等がある場合は、7月8日(水)までに電子メール等でご提出いただきますようお願いいたします。

また、第4回審議会及び第5回審議会の開催日が現時点で未定となっております。日程調整ができれば、電子メール又は郵送にてスケジュール表を送付いたします。

【会長】

それでは、以上をもちまして、本日予定しておりました議事は、すべて終了いたしました。これをもって、進行を事務局へお返しします。

【事務局】

鈴木会長、ありがとうございました。それでは、閉会にあたり岸総合政策部長より一言申し上げます。

【総合政策部長】

本日は長時間にわたり、慎重審議を賜り誠にありがとうございました。委員の皆さんの貴重なご意見、想いについては、今後の基本構想などの検討に活かして参ります。

今後、非常にタイトなスケジュールではございますが、実効性の高い総合計画の策定に向けて、全市一丸となって取り組んでまいります。委員の皆様、ご多忙のところ誠にとおそれいりますが、今後ともご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

【事務局】

どうもありがとうございました。次回審議会の正式な開催案内文書は、早急に郵送させていただきますので、ご出席いただきますようお願いいたします。

本日は誠にありがとうございました。事故等にお気をつけてお帰りいただきますようお願いいたします。

以上